

京都女子大学

生活福祉学科紀要 第15号

Journal of Living and Welfare
Kyoto Women's University No.15

京都女子大学家政学部生活福祉学科

Department of Living and Welfare
Faculty of Home Economics
Kyoto Women's University

February 2020

生活福祉学科紀要

第 15 号

目 次

原 著 論 文

- 協働学修においてファシリテーションを用いる際の要点
..... 岩崎 保之..... 1
- 「日常生活の営み」支援における介護福祉の対象—1990年代後半から2000年代にかけての議論—
..... 太田 貞司..... 13
- 地方自治体における新設認定こども園の教育・保育カリキュラムの編成過程
—「循環型」研修会によるカリキュラム・マネジメント—
..... 齊藤 勇紀, 金 洋輔, 岩崎 保之..... 23
- 介護福祉士養成課程における「ノーリフティングケア」教育の現状と課題
—介護労働現場の労働衛生の水準が向上するために—
..... 富田川智志..... 31
- 国内のデスクフェの現状と可能性—多死社会を支えるつながりの場の構築—
..... 吉川 直人..... 39
- 介護実習における学生の学びと記録について—介護実習日誌の調査から—
..... 吉川 直人..... 45

研 究 ノ ー ト

- 養護教諭と栄養教諭等の連携による食育の実態と課題
..... 大川 尚子..... 53

自 由 論 叢

- Inspection of the results of the “Survey on response to cases of abuse based on the Act on the Prevention of Abuse of Persons with Disabilities and Support for Caregivers” published by Ministry of Health, Labour and Welfare: Several years have passed since enforcement of the Act in Japan
..... Yousei Kajiwara..... 59

京都女子大学生生活福祉学科紀要投稿規定

(2019年5月31日制定)

1. 原稿は生活福祉学科に関係のある原著論文(査読付き)、総説、研究ノート、自由論叢、研究室だより、卒業生だより、実習記および見学記などとする。投稿者の制限は設けない。
 2. 原稿の採否、分類は、編集委員会に一任とする。編集委員会は必要により外部識者に査読を依頼する。また、原稿中の字句については、加除、修正を行うことがある。
 3. 原著論文は他誌に未発表のものとする。
 4. 原稿はワープロを使用し、印字した原稿と共に USB メモリー等へ書き込むかメールで提出する。
 5. 原稿の書き方は下記の通りとする。
 - (1) 原著論文は表題頁、英文抄録(250語以内)、本文、文献、図説、表、図の順にまとめる。
 - (2) 原著論文の本文は可能な限り見出を付け、I. 目的、II. 方法、III. 結果、IV. 考察、V. 結論の順とする。
 - (3) 原著論文は表題の下に著者名を書き、続いて英文表題とローマ字著者名を記載する。続いて著者名(含 Email address)を和文、英文で記す。
 - (4) 文章はひらかな、当用漢字を用い、現代かなづかいにより、化学用語は文部省学術用語による、外国語音訳にはカタカナを用いる。
 - (5) 本文の区分はポイントシステムにより、大見出し、中見出し、および小見出しを明確にする。なお、小見出し以下の区分はアルファベットによる。

〔例〕 II. 方法

 1. 生活習慣調査
 - 1) 食品等摂取量・頻度の調査
 - A. 飲酒量
 - (6) 句読点およびカッコには1こまを与える。ハイフンは1こまの中に明瞭に書く。新しい行の初めは1こまあける。
 - (7) 一般に通用している物質名、術語などに対しては外国語を用いないこととする。
 - (8) 数字はすべてアラビア数字を用い、数量は原則としてC.G.S.単位を用いる。
 - (9) 表、図および写真の番号は表1、表2、…図1、図2、…のように表わし、表の説明は表の上を書く。図の説明は、別の用紙にまとめて書く。
 - (10) 図、表および写真は本文中に挿入箇所を明示して、別に添付する。
 - (11) 本文中の引用文献番号は出現順に¹⁾のように上付きで書く。文献は本文中の文献の項目に番号順に並べる。
 - (12) 引用文献が雑誌の場合は著者名、表題名、雑誌名、年号、巻数、頁数の順に書き、引用文献の略し方は原則として日本化学総覧およびChemical Abstractsの規定による。著者が7名以上ある場合は3名まで記し、残りの著者は「その他、またはet al.と略す。

例) Hines LM, Stampfer MJ, Ma J, Gaziano JM, et al. Genetic variation in alcohol dehydrogenase and the beneficial effect of moderate alcohol consumption on myocardial infarction. N Engl J Med 2001; 344: 549-555.
 - (13) 引用文献が書籍の場合は 著者名:論文名, in 書名, (編集者名), 版数, 発行者, 発行地名, 発行年(西暦), 起始-終了頁 を記入する。

例) 藤原久義:心臓腫瘍 in 心臓病学(河合忠一編), 初版, 朝倉書店, 東京, 1986年, pp784-789.
6. 校正は著者が行うことを原則とする。総説、原著論文、自由論叢については希望者に対し別刷20部を贈呈する。それ以上の希望数に対しては実費を申しあげる。
7. 紀要に掲載された総説、原著論文、自由論叢、その他全ての著作権は京都女子大学家政学部生活福祉学科に属すものとする。

編集委員 ○印は委員長

○太田 貞司
井上 文夫
岩崎 保之
大川 尚子
下村 雅昭

京都女子大学 生活福祉学科紀要 第15号 (非売品)

2020年2月20日 発行

編集委員代表

編集者 太田 貞司
発行所 京都女子大学家政学部生活福祉学科
〒605-8501 京都市東山区今熊野北日吉町 35
電話 075-531-2142
印刷所 中西印刷株式会社
京都市上京区下立売通小川東入
電話 075-441-3155
